

全 力 疾 走

令和3年12月3日（金）発行
多摩市立聖ヶ丘中学校
第3学年
第31号

12月6日（月）から10日（金）まで進路面談が行われます。面談期間中は午前授業で、給食後はすぐに下校です。

進路面談に向け、色々と確認しなければならないことがあります。「私立高校の推薦入試制度や併願優遇制度を利用するにあたり、高校が定める基準を満たしているか？」、「都立高校の推薦入試にあたり、5教科の勉強と並行して作文・面接対策の勉強をする時間はあるのか？」、「都立高校しか考えていない生徒は、第二次募集まで受験が続く可能性も考えてるのか？」……など、家庭でよく話し合っておきましょう！

【面接練習、始めます！】

12月2日（木）から22日（水）までの期間、校長先生と副校長先生による面接練習が行われます。第3学年の生徒全員が対象で、基本的な礼儀作法や言葉遣い、心構えを身につけることを目的としています。教室に予定表が掲示されていますが、確認しましたか？

総合的な学習の時間に、『面接ガイド』を記入したり、「面接DVD」を視聴したり、入室練習をしたり、……。自分のことを振り返ることの多い11月でした。そのときの写真を紹介します。



【推薦入試に関するちょっとしたお話】

中学3年生の頃、公立高校の推薦入試に挑戦しました。1年生の頃から、どうしても行きたかった高校です。倍率は7.25倍。主な志望理由は以下の4点でした。

- ・剣道の強豪校であること
- ・進学指導重点校であること
- ・自転車通学が可能な距離であること
- ・同じ道場の尊敬する先輩がいること

この条件を満たす高校は1校しかありません。だから、何を聞かれても怖くありませんでした。

推薦受験を考えている皆さん、志望理由はしっかりと考えていますか？「その理由って、●●高校にも▲▲高校にも■高校にも当てはまるのでは？」と聞かれたとき、反論できますか？できなかったならば、志望理由が弱いのかもかもしれません。……といった内容を、中学生の頃、国語科のK先生に言われたことを思い出しました。

【道徳の授業にて】

道徳の授業で、菅原裕子さんが翻訳した「ひび割れ壺」という民話を読みました。以下に全文を掲載します。

インドのある水くみ人は、二つの壺を持っていました。

天秤棒の両端にそれぞれの壺を下げ、首の後ろで肩にかついで、彼は水を運びます。

壺の一つにはひびが入っています。もう一つの完璧な壺が、小川からご主人様の家まで一滴の水もこぼさないのに、ひび割れ壺は水くみ人が水をいっぱい入れてくれても、ご主人様の家に着く頃には半分になっているのです。

完璧な壺は、いつも自分を誇りに思っていました。なぜなら、彼が作られたその本来の目的をいつも達成することができたから。ひび割れ壺はいつも自分を恥じていました。なぜなら、彼が作られたその本来の目的を半分しか達成することができなかったから。

2年が過ぎ、すっかりみじめになっていたひび割れ壺は、ある日、川のほとりで水くみ人に話しかけました。

「私は自分が恥ずかしい。そして、あなたにすまないと思っている。」

「なぜそんなふうに思うの？」

水くみ人は尋ねました。

「何を恥じているの？」

「この2年間、私はこのひびのせいで、あなたのご主人様の家まで半分の水しか運べなかった。水が漏れてしまうから、あなたがどんなに努力をしても、その努力が報われることがない。私はそれがつらいんだ。」

壺は言いました。

水くみ人はひび割れ壺を気の毒に思い、そして言いました。

「これからご主人様の家に帰る途中、道端に咲いているきれいな花を見てごらん。」

天秤棒にぶら下げられて丘を上っていく時、ひび割れ壺はお日様に照らされて美しく咲き誇る道端の花に気づきました。

花は本当に美しく、壺はちょっと元気になった気がしましたが、ご主人様の家に着く頃には、また水を半分漏らしてしまった自分を恥じて、水くみ人に謝りました。

すると彼は言ったのです。

「道端の花に気づいたかい？ 花が君の側にしか咲いていないのに気づいたかい？ 僕は君からこぼれ落ちる水に気づいて、君が通る側に花の種をまいたんだ。そして君は毎日、僕たちが小川から帰る途中水をまいてくれた。この2年間、僕はご主人様の食卓に花を欠かしたことがない。君があるがままの君じゃなかったら、ご主人様はこの美しさで家を飾かざることはできなかったんだよ。」

道徳の時間にも触れましたが、「水くみ人」が「ひび割れ壺」にポジティブな意味づけを行うところが素敵ですね。人の欠点を欠点として捉えるばかりではなく、欠点も含めて相手を受け容れることのできる人間になりたいものです。

【来週の予定】

日付	曜	内容 ・ 連絡	給食
6日	月	教育相談 始	○
7日	火		○
8日	水		○
9日	木		○
10日	金	教育相談 終	○